

令和7年度 ハイッ山崎地域連携推進会議議事録

・日時：令和8年2月27日（金） 13：00～14：00

・場所：ハイッ山崎A棟208号室

・出席者：宍粟市障がい福祉課長、中広瀬地区民生委員

利用者家族、利用者 各1名

NPO 法人はりま福社会事務局長、ハイッ山崎管理者 計6名

1, 開会あいさつ

2, 出席者自己紹介

3, ハイッ山崎の概要

運営母体：NPO 法人（特定非営利活動法人）はりま福社会

H25年12月15日に共同生活援助施設として認可

4, 利用者様の状況

男性：13名、女性：6名

30歳代：3名、40歳代：3名、50歳代：8名、60歳代：5名

精神障害：13名、知的障害：4名、身体障害：2名

5, 利用者様の支援について

夕食の提供（1食600円）

金銭管理・服薬管理（必要な方のみ）

清掃の点検、衛生面の支援

相談への対応・傾聴

6, 虐待防止についての取り組み

7, 災害対策について

8, 感染症対策について

9, 利用者様の部屋の見学

10, 共用室の見学

1 1, 質疑応答・意見交換

自宅で息子が過ごしている時は早く自立してほしいとの思いが強く、厳しいことも言ってきた。しかし、それが本人にとっては重荷であったようである。これからも引き続き同じように支援をしてもらいたい。当事者は、人付き合いのむずかしさがある。これからもいろいろな人との交流で、力をつけていてもらいたい。(利用者家族)

職員が19時で帰宅するので、門限が19時になっている。成人した大人なので、もう少し遅い時間にしても良いのではないか。(ハイツ山崎管理者)

24時間体制の施設ではないが、そもそもグループホームでありながら夜間に職員がいないことが問題と思っている。24時間体制になれば、門限も遅くすることができる。(法人事務局長)

利用者S様は、将来一般就労をして一人暮らししたいと目標を持って毎日頑張っておられる。(ハイツ山崎管理者)

姫路で部屋を探している。(利用者)

65歳以上の方が3名おられる。障害者65歳問題がある。(ハイツ山崎管理者)

※障害者65歳問題とは、現在利用者様は障害福祉サービスでグループホームを利用されたり作業所に通所されたりしているが、今後それが、介護保険サービスの利用に変わる。そのことにより、今まで受けていたサービスが受けられなくなったり、サービス量が減少したりする可能性があるという問題を言う。

具体的にどのような方なのか教えてもらいたい。(障がい福祉課長)

利用者様は65歳で、精神障害を持っておられる。妄想がひどく、「自分は神なので薬はいらない」と言われている。しかし、それ以外の身体は異常ない。日常生活も問題なく自立されている。(ハイツ山崎管理者)

原則として介護保険のサービスが優先されるが、障害福祉の部分もプラスできる。話に来ていただければ対応する。(障がい福祉課長)

同じ中広瀬地区にいながら、ハイツ山崎のことは知らなかった。

アルカディアB棟には行ったことがあったが、ハイツ山崎のことは知らなかった。

自治会としての立ち位置はどうなのか。何かあった時の支援は、どうするのか。

自治会長とも話をしたが、今後連携できていけば良いかなと思っているがどうか。

(民生委員)

他のグループホームでは、地域のイベントに参加されたり清掃活動に参加されたり等、地域とのつながりを持っておられる。(障がい福祉課長)

地域と普段からつながりを持ってはどうか。歩いておられるときに会うことがある。でも、声をかけてよいのかと迷うことがある。(民生委員)

自治会費について、法人で支払うべきか。個人で支払ってもらう方が良いのか。

(法人事務局長)

溝掃除に参加できないけれど良いのか。(ハイツ山崎管理者)

今後自治会費について検討していき、またお伝えしていきたい。(法人事務局長)

家族の方の一番の心配は「親亡き後」のことと思う。(ハイツ山崎管理者)

やはり親は「親亡き後」が一番心配で、できれば親より早く死んでほしいと思ったりする。兄弟がいて何とか手助けしたいと思う気持ちがあっても、自分の家族のことに精いっぱいではなかなかむずかしい。(利用者家族)

障害福祉サービスが充実してきている。親が要望することが少なくなっている。

(障がい福祉課長)